

ステークホルダー・ミーティングの検証結果について

1. 検証方法について

平成 21 年度から平成 25 年度までに実施したステークホルダー・ミーティングについて、これまで 5 年間の検証を次のとおり行った。

最初に、5 年間で頂戴した意見等（計 438 件）について、表 1 のとおり分類し、そのうち、3（検討する等）、4（実施する）に分類した 132 件の意見等について、その後の実施状況を、各担当理事に確認した。

その結果、表 2 及び表 3 のとおり、a（実施済み）、b（実施予定）、c（引き続き検討）、d（実施しない）に分類することができた。

なお、意見によっては、複数の理事から回答を得たもの等があり、表 1 の合計と表 2、3 の合計が異なっている。

表 1 5 年間の意見の分類

分類	件数
1 期待する・評価できる	51 件
2 質問と回答	221 件
3 検討する・進める・目指す	87 件
4 実施する	45 件
5 その他	20 件
合計	438 件

表 2 3（検討する等）の意見の回答

年度	3（検討する等）の意見の回答				計	a の割合	abc の割合
	a (既に実施)	b (実施予定)	c (引き続き検討)	d (実施しない)			
21	3	1	2		6	50.00	100.00
22	12	1		1	14	85.71	92.86
23	24		7	4	35	68.57	88.57
24	11	2	4	1	18	61.11	94.44
25	10	1	8	1	20	50.00	95.00
計	61	5	21	7	94	64.89	92.55

表 3 4（実施する）の意見の回答

年度	4（実施する）の意見の回答				計	a の割合	abc の割合
	a (既に実施)	b (実施予定)	c (引き続き検討)	d (実施しない)			
21	5				5	100.00	100.00
22	9		1		10	90.00	100.00
23	5				5	100.00	100.00
24	12		1		13	92.31	100.00
25	8		4		12	66.67	100.00
計	39		6		45	86.67	100.00

2. 検証結果について

検討する等と回答した表2の結果から、既に実施したものは64.9%であるが、実施を予定している意見と引き続き検討している意見を含めると92.6%の高い割合を示している。

同様に、実施すると回答した表3の結果から、86.7%の意見等については既に実施していることが確認でき、引き続き検討している意見を含めると全ての意見等について、実施に向けて取り組んでいることが分かった。特に、検討中の意見は6件のみとなっている。

また、年度別に実施した意見を確認した場合、検討する等とした意見（表2）については、平成22年度を除いておおむね50～60%台であったが、実施する等とした意見（表3）については、平成21～24年度の早い時期の意見ほど実施率が高く、検討中の意見は2件のみとなっていることが確認できた。

なお、「実施しない」とした7件の意見については、現行の学内資源の状況や教育研究上の有用性などを考慮して検討した結果、現時点では対応が困難と判断した。この他、「引き続き検討」としたものが26件あり、これらについては、できるだけ早い時期に検討を済ませ、対応する必要があると考えている。しかしながら、中には、大きな改革を伴うことから、中長期的な視点に立って取り組む必要があり、短期的に対応することが困難であると判断せざるを得ない意見等もあった。

以上のとおり、ステークホルダー・ミーティングで指摘のあった意見は、一部、実施しないとしたものや検討中のものもあるが、概ね大学運営等に反映できていると考えている。

いずれにしても、これまで5年間に亘って実施してきたステークホルダー・ミーティングで寄せられた意見は、貴重なものであり、大学運営にとって有益であった。大学としては、様々な形で第三者の意見に耳を傾けていくことは重要であり、今後もステークホルダー・ミーティングは継続して実施していきたいと考えている。